

私が解決しようとしている社会的課題

森林の所有と経営の分離を実現し、放置され十分に活用されていない日本の森林に、「環境、社会、経済の側面からみて適切な管理」が行われるようにしたいと考えています。

- 山村には、まだ豊かな自然環境が残されていますが、人手が入らなくなって荒れた森林が増えています。また、都市にはない豊かな生活文化も残されていますが、過疎と高齢化によってそれらは失われつつあります。
- 森林等の自然と人間社会の相互関係の総体である山村という空間が、私はとても好きですが、今のままでは荒廃の一途です。
- なんとかして、「森林が適切に管理され、そこで人が生活していける状態」を実現して、このような「日本の森と人の問題」を解決したいと考えています。
- ボトルネックになっているのは、管理意欲のない人が森林を所有しつづけていることです。また意欲のない人もある人も同じように扱う森林・林業政策も大きな問題です。
- 林業が衰退し、森林が放置されているのは、仕方がないことではありません。原因があるわけですから、それを取り除けば、この問題は解決できるはずですよ。

～ 管理されていないヒノキ人工林 ～



間伐されていないため、林内が暗く下層植生もほとんどありません。このような森林は、生物層も貧弱で、治山治水に支障をきたします。しかも、この森は林道に接して経済的にもペイする立地です。これほど恵まれた立地でも、所有者の管理意欲がなければ放置されてしまい、環境、社会、経済のどの面からみても不適切な状態になってしまっています。

～ 適切な森林管理を行っている速水林業 ～



写真は、三重県の速水林業の森林です。速水林業は、環境、社会、経済の側面からみて適切な森林管理であることを認証するFSCを日本で最初に取得しました。

間伐がしっかりなされているので、森の内部は明るく、下草が生い茂っています。そのため、いろんな植物や動物が速水林業の森に棲んでいます。

速水林業では、枯れ木がでてすぐに撤去しません。そこに虫がつき、それが鳥のエサになるからです。

経済状況が厳しい山村で20名の雇用を維持し、地域社会に貢献しています。

また、付加価値の高い木材を生産し、売り方も工夫しているので、経済的にも成り立っています。

環境、社会、経済からみて適切な森林管理とは、このようなものです。適切な森林管理とは、「社会の変化に適応する経営努力を続け、社会的責任をしっかりと果たす森林管理」であるとも言えます。一般のビジネスではあたり前になりつつあることが、森林・林業の世界はそうではありません。

速水林業のような森林管理が増えていけば、とても素晴らしいことです。私はそれをなんとかしたいと考えています。